

筑紫女学園大学真宗文化財調査研究プロジェクトの調査研究成果の一つである新発見「萬行寺屏風」(福岡市博多区萬行寺蔵、福岡市指定文化財)を手掛かりに、戦国から桃山時代に活躍した二人の絵師の実像に迫る。

会期／2017 11/18 土
15:00～17:00

会場／エルガーラホール 7階多目的ホール
福岡市中央区天神1.4.2

講師／くろだ たいぞう
黒田 泰三

明治神宮ミュージアム開設準備室室長
元出光美術館学芸部長、京都造形芸術大学客員教授。
女子美術大学、東京藝術大学などでも講師を務める。
1954年福岡生まれ。九州大学文学部卒業。博士(文学)。
専門は日本近世絵画史。『狩野光信の時代』で2008年第6回徳川賞(徳川記念財団主催)を受賞。
主な著書に『もっと知りたい長谷川等伯』『思っきり
味わいつくす伴大納言絵巻』等。近著に『思いがけない
日本美術史』(祥伝社新書)がある。

入場
無料

(要事前申込)

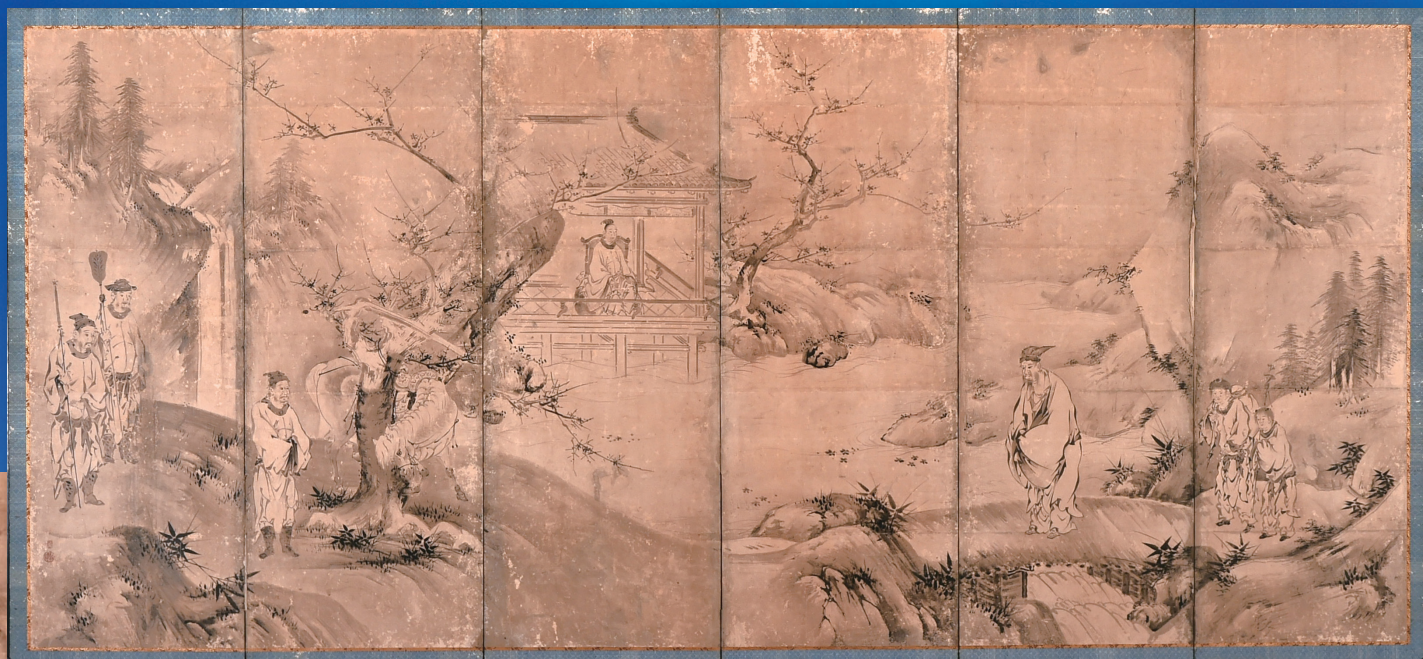
対象

一般 70名


長谷川等伯と 狩野永徳の 対決の行方

—新発見の博多萬行寺屏風から見えてくること—

学校法人筑紫女学園創立110周年記念講演会



梅に鳩・東坡風水洞図屏風(萬行寺屏風) 写真提供:福岡市

 筑紫女学園大学
大学院 / 文学部 / 人間科学部 / 現代社会学部

お申込み・お問合せ 生涯学習センター
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL: (092) 925-9685 FAX: (092) 925-8319
Eメール: gakushu@chikushi-u.ac.jp

※お申し込みの際は、ハガキ・FAX・Eメールにて、
氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号・FAX番号をご記入ください。
※定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承下さい。
※お預かりした個人情報は適切に管理し、講座運営以外に使用することはありません。